

事例紹介

中規模キャンパス ワイヤレス ネットワーク

FSエンタープライズWLANソリューションで実現空港オフィス環境のシームレスなローミング体験

空港オフィスはFSエンタープライズWLANソリューション導入により、シームレスなローミングを実現し、従業員のネットワーク切り替えや再ログインの手間を省き、キャンパス内の作業やコラボレーションを円滑化し、生産性向上が期待されます。

FSエンタープライズWLANソリューションで実現 空港オフィス環境のシームレスなローミング体験

国家

日本

業界

航空

ネットワークタイプ

中規模キャンパスワイヤレスネットワーク

ソリューション

エンタープライズWLAN

ハイライト

- シームレスなローミング体験：従業員は移動中もネットワーク接続を維持し、作業効率と従業員の満足度を向上させる。
- 簡単なメンテナンス：専門的な設定により、以降のネットワークメンテナンス作業が簡素化され、技術力が限られていてもエンドユーザーはネットワークシステムを簡単に管理およびメンテナンスできる。
- 迅速な展開：効率的な実装プロセスとエキスパートサポートにより、迅速な展開が実現。
- セキュリティ保障：SSIDの非表示設定とIPアドレスフィルタリングにより、ネットワークアクセスの制御が強化され、施設内のネットワークセキュリティが確保される。
- パフォーマンス最適化：ローカル転送とDFS設定により、ネットワークパフォーマンスが向上し、政府機関の高い要求水準に対応する。

主な成果

- 緊急な状況にもかかわらず、時間通りに設定を完了し、取引先企業は工事遅延による損害賠償を回避できるようになりました。
- エンドユーザーは追加の技術スタッフを雇う必要がなく、少なくとも1人分の人件費を削減することができます。
- 正しく設定された機器は故障とメンテナンスの頻度を減らし、エンドユーザーの運用リスクを低減し、メンテナンスコストも削減できます。

“ 作業が無事に終了し、本当にお力添えいただきありがとうございました。今後も引き続きよろしく願いいたします。 ”

取引先最高経営責任者（CEO）兼取締役 より



背景

取引先企業は2003年に設立され、主な事業範囲は通信工事およびLAN工事（工場、賃貸ビル、学校、老人介護施設、スポーツクラブ、アパートなど）の施工と電気機器の販売です。同社は通信機器の販売と取り付けを行う中間業者であり、今回のプロジェクトでは特定の空港においてエンドユーザーに向けて無線ネットワークソリューションを提供する必要があります。しかしながら、当該企業の技術力はエンドユーザーの要求を満たすには十分ではありません。設備の設定やデバイスのトラブルシューティングに関して専門家のサポートが必要です。同社の強い要望に応えるため、FS技術チームは現地に急行し、エンドユーザーのネットワークを再構成し、プロジェクトの成功を確保しました。

チャレンジ

エンドユーザーからの要望は、2つの建物のネットワークをつなげて、オフィス従業員が日常業務に必要なネットワーク環境を提供することです。さらに、AP（アクセスポイント）間のシームレスなローミングを実現し、従業員がキャンパス内を移動する際にデバイスがスムーズに切り替わり、ネットワーク接続が安定することが要望されています。

しかしながら、取引先企業の技術能力には一定の制約があり、デバイスの調整やトラブルシューティングにはより専門的な能力が必要な状況でした。さらに、エンドユーザーのインストール環境は実際にはネットワークに接続されておらず、設定がリセットされたあと、デバイスが正常に機能しない状況になってしまいました。

このような状況を踏まえ、取引先企業は納期の緊急性に直面しており、プロジェクトを期限内に完了できない場合、高額な違約金の支払いや信用の損失のリスクが生じる可能性があります。したがって、必要なサポートを提供することが重要となります。

ソリューション

FS技術チームは問題解決のための技術サポートを提供しました。その結果、製品を予定通りに納品し、エンドユーザーの要求に応えることで、プロジェクトの成功を確保しました。

FSが提供するソリューションにより、2つの建物のネットワークを接続し、オフィスの従業員が必要とするネットワーク環境を提供できます。まず、1つ目の建物には4階と5階にそれぞれ5台のAP-N505無線アクセスポイントと1台のAC-1004無線LANコントローラーを設置します。これにより、広範囲なカバレッジと一貫したネットワークパフォーマンスを確保します。同様に、もう1つの建物にも5台のAP-N505と1台のAC-1004を設置し、シームレスな接続と統一されたSSID体験を提供します。

FS集中型コントローラーを使用することで、ネットワーク管理を効率的に行えます。管理者はリアルタイムでネットワークパフォーマンスを監視・調整し、ネットワークの安定稼働とセキュリティを確保できます。高度なAP設定では、SSIDの非表示化や無線電波強度の調整など、セキュリティと信号カバレッジの要件に合わせた設定が可能です。また、AP間でのローカルデータ転送の設定により、ACへのデータ転送負荷が軽減され、データ処理の効率と速度が向上します。さらに、AC上での動的周波数選択（DFS）機能の設定により、利用可能な周波数帯域を効果的に活用し、他のデバイスとの干渉を回避して無線ネットワークの安定性を向上させます。

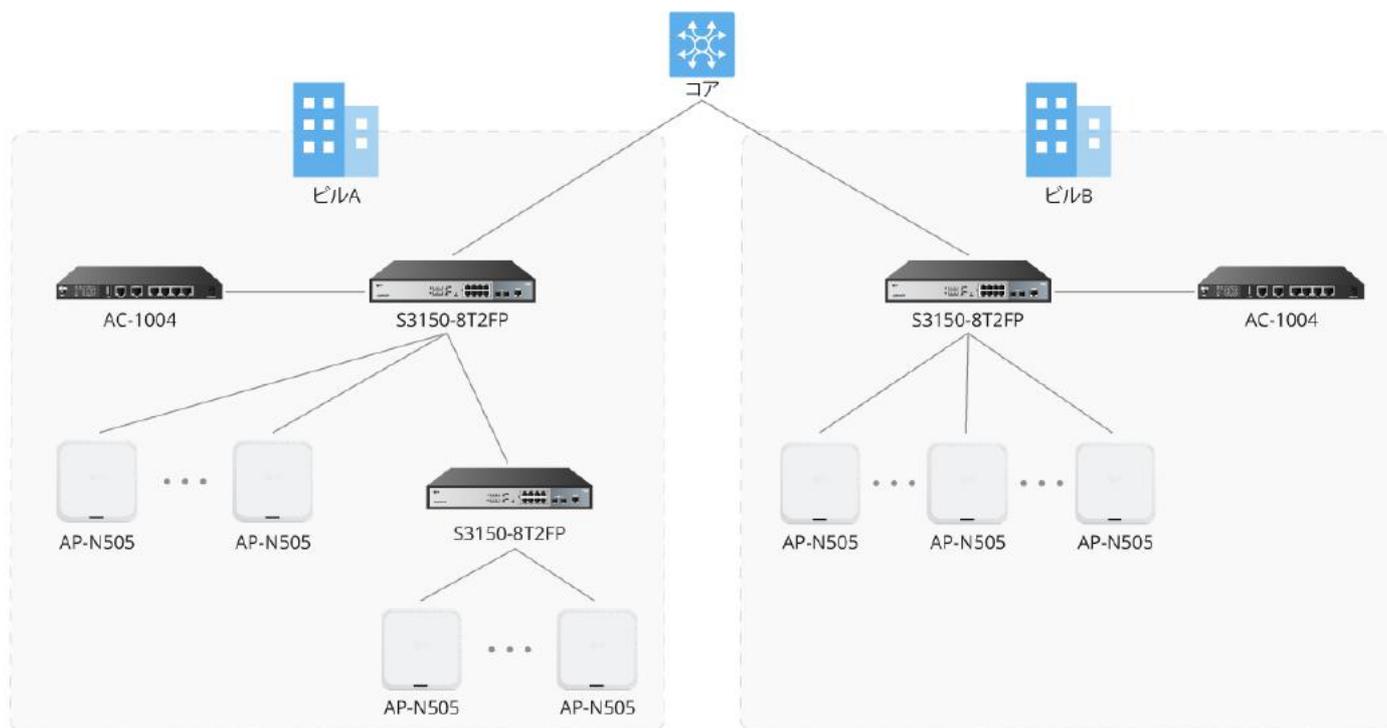
またFS S3150-8T2FP 8ポートマネージドPoE+スイッチは、高性能ハードウェアとFSOSプラットフォームに基づいて、ACL、QinQ、QoSなどの機能をサポートしています。シンプルな管理モードと柔軟な設置方法により、複雑なシナリオにも対応できます。

S3150-8T2FPスイッチを使用することで、DHCPサービスやIPアドレスフィルタリングルールの設定が可能です。これにより、IPアドレスの自動割り当てと使用制御を行い、ネットワークの柔軟性とセキュリティを確保します。

以上のソリューションを導入することで、2つの建物のオフィスエリアでは広範なカバレッジと一貫したネットワークパフォーマンスが提供され、従業員や訪問者はシームレスな接続と統一されたSSID体験を享受できます。ネットワーク管理者は集中型コントローラを使用してネットワークを効率的に監視・管理し、安定したネットワーク運用とセキュリティを確保できます。

まとめ

このようなAP間のシームレスなローミング機能により、従業員や訪問者はキャンパス内を自由に移動し、ネットワークの切り替えや再ログインの手間を省くことができ、シームレスなワイヤレスカバレッジを利用することができます。作業の中断を避けることができるため、従業員や訪問者はスムーズに業務を続けることができます。また、追加のネットワーク設定や手続きの必要性がなくなるため、効率的な時間管理が可能です。移動中も安定したネットワーク接続が保たれるため、情報の共有やコミュニケーションも円滑に行えます。これらの利点により、キャンパス内での作業やコラボレーションが円滑になり、生産性が向上することが期待できます。





日本

住所：〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23 JSプログレビル5階

電話番号：03-5826-8305

電子メール：JP@fs.com

詳しくは、www.fs.com をご覧ください。